

三倍体か、あるいは $x = 9$ を基本数とする $2n = 54$ の低六倍体であると判断される。今回の日本産スベリヒユで観察された染色体数 ($2n = 52$) は、国外では報告されておらず、日本産のスベリヒユが独特の染色体数を持つことが判った。

^aGraduate School of Science and Engineering,
University of Toyama, 3190, Gofuku, Toyama,
930-8555 JAPAN;

^a富山大学大学院理工学研究科;

^b62, Aza-Nakayagi, Odaki, Esashi-ku, Oshu,
023-1131 JAPAN;

^b奥州市江刺区愛宕字中谷木62;

^cDepartment of Biology, Faculty of Science,
University of Toyama,

3190, Gofuku, Toyama, 930-8555 JAPAN

E-mail: iwatsubo@sci.u-toyama.ac.jp

^c富山大学理学部生物学科)

エゾノチャルメルソウの南限と東北地方における分布 (上野雄規^a, 大橋広好^b)

Yuki UENO^a and Hiroyoshi OHASHI^b: Distribution of *Mitella integripetala* H. Boissieu (Saxifragaceae) in Northern Honshu, Japan

Summary: *Mitella integripetala* H. Boissieu is endemic to Hokkaido and northern Honshu, Japan. Distribution of the species in northern Honshu is mapped with a new record for the southernmost locality and a rediscovered locality in Miyagi Prefecture.

エゾノチャルメルソウは北海道と本州北部に分布し、本州では宮城、山形両県以北に分布するとされている (上野1991)。しかし TUS に1993年に福島県郡山市で採集された標本があり、この地点を南限としてここに報告する。また、この機会に東北地方におけるエゾノチャルメルソウの分布を整理した。本種の分布図では若林 (1973) が東北地方から7地点を印したが、その後の採集記録も増加したので、その分布図をまとめてみた (Fig. 1)。TUS 所蔵標本に加えて各県の博物館所蔵標本目録等 (文献に引用) を参照した。日本海側では山形県吾妻連峰白布峠付近が南限である。

次に、宮城県で本種の分布が再確認されたことを報告したい。エゾノチャルメルソウは「宮城県植物目録」(青森営林局 1935) に「横川」と記録されているだけで、その標本も具体的な産地も不明であった。宮城県植物目録2000 (宮城植物の会・宮城県植物誌編集

委員会 2001) には「船形連峰：白髪山」を太平洋側南限として記録しているが、この証拠標本と思われる Ogura 658 (TUS69062) は Uzen: Mt. Shirahige で採られたもので、この産地は山形県内である。しかし、2006年葛西英明氏が蔵王連峰不忘山西斜面横川の海拔760 m の地点でエゾノチャルメルソウを再発見した。この生育地は71年前に村井が記録した「横川」の範囲に入る地域であると思われる。上野の現地調査では、生育地は急な斜面を横川へ落ちるように流れ込む小さな沢で、エゾノチャルメルソウは露出したでこぼこの岩の上にへばり付いて生えていた。最も大きな個体では一塊となって50 cm × 70 cm の範囲に拡がり、21本の花茎を出し、最長の花茎は長さ51 cm であった。同地点で点々と分布する30個体を確認し、そのうち10個体が開花していた。いずれも花は終期であった。

エゾノチャルメルソウ証拠標本：宮城県七ヶ宿町、蔵王連峰不忘山西斜面横川右岸、22 June 2006. Y. Ueno s. n. (TUS 341156)。福島県郡山市熱海町中山、天狗角力取山東南麓三河沢沿い、1 July 1993. H. Ohashi, T. Kajita, B. Ye & K. Yonekura s. n. (TUS 168770)。

再発見を知らせて下さった仙台市葛西英明氏と青森県の文献を教えてくださいました青森県立郷土館神 真波氏に感謝する。

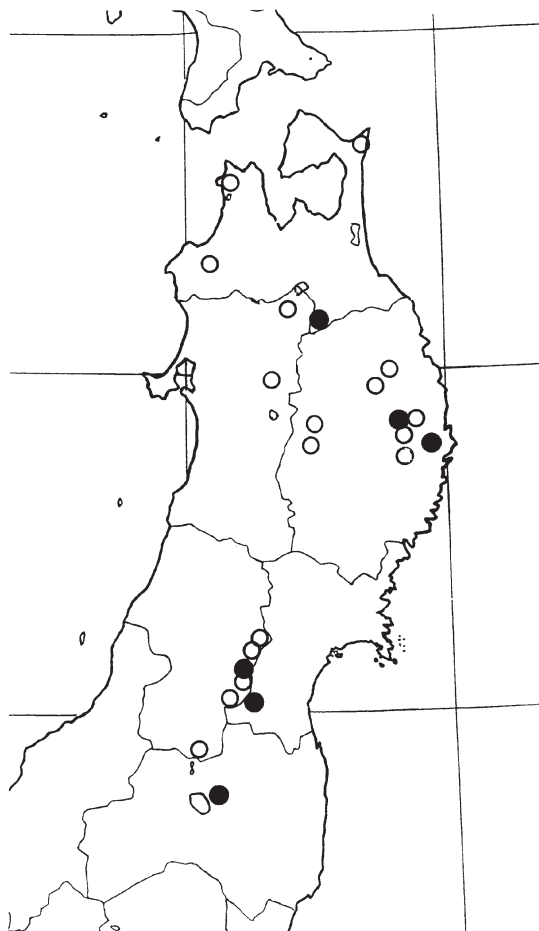


Fig. 1. Distribution of *Mitella integriflora* in northern Honshu (black disc: specimens in TUS, white disc from references). エゾノチャルメルソウの分布 (●は TUS 標本, ○は文献に基づく).

引用文献

- 青森営林局 (村井三郎編) 1935. 宮城県植物目録. 青森営林局, 青森.
- 青森県立郷土館 1991. 青森県立郷土館収蔵資料目録 第1集. 植物編(1)被子植物. 青森県立郷土館, 青森.
- 秋田県立博物館 1992. 秋田県立博物館収蔵資料目録. 自然Ⅳ. 種子植物(離弁花類)編. 秋田県立博物館, 秋田.
- 藤原陸夫 2000. 秋田県植物分布図. 第2版. 秋田県環境と文化のむら協会, 五城目.
- 畠山益穂 1988. 鷹巣地方植物誌. 無明舎出版, 北秋田.
- 岩手県立博物館 1988. 岩手県立博物館収蔵資料目録. 第3集. 生物. 村井コレクションその1. 岩手県立博物館, 盛岡.
- 岩手植物の会 1970. 岩手県植物誌. 岩手植物の会, 盛岡.
- 宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会 2001. 宮城県植物目録2000. 宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会, 石巻.
- 遠野市植物誌編集委員会 1987. 遠野市植物誌. 遠野市立博物館, 遠野.
- 上野雄規 1991. 北本州産高等植物チェックリスト. 東北植物研究会, 白石.
- 若林三千男 1973. 日本産チャルメルソウ属について. 植物分類, 地理25: 136-153.
- 山形県立博物館 1994. 山形県立博物館収蔵資料目録 植物資料目録2 結城嘉美コレクション. 山形県立博物館, 山形.

(^a仙台市都市緑化ホール 仙台市七北田公園,
^b東北大学植物園津田記念館)